

imaルアーがもっとわかる! 最新情報デジタルマガジン!

ima デジタルマガジン vol.54  
2011.3

Take FREE!

¥0

# komomoII 90で エキサイティングな トップゲームを!

2011年4月に追加投入される  
サブサーフェイスミノークomomoII 90。  
110mmサイズのkomomoIIをこよなく愛し、  
数々の実績を上げてきたimaテスター  
濱本国彦氏によるインプレッション。  
仕様の違いからエキスパートが見る両者の違い、  
その使い分けを徹底検証。このデジマグを  
一読すればアナタもサブサーフェイスマスター!!

## komomoIIでTOPゲームを楽しむ!!

2009年のデジマグvol.43に使われた  
90cmオーバーのシーバス。ピンクの  
komomoIIサンプルを使って、この魚を  
釣ったシチュエーションを今でもはっきりと  
覚えています。流芯から外れて行こうとする  
komomoII、やがて流れの境目に差し  
掛かった時、突如炸裂する水面と上がる  
水柱。そうなのだ、この水柱こそkomomo

IIの釣れる瞬間を見られる醍醐味なのです。手に伝わる感覚で釣りを  
するのは当たり前だけど、TOPゲームの“見える”という事実はゲームの楽し  
さを大きく左右します。

アングラーの興奮度MAXのTOPゲームは非常にエキサイティングな  
もので、トリコになること間違い無しです!

## komomoIIとkomomoII 90の違い

サイズ110mmから90mmへの単なるサイズダウンでは無く、完全に再  
設計がなされています。短くなったせいもあって第一印象は「ファットだ  
なあ〜」と少し太く感じることでしょう。そして、特徴的なリップ?(カップ?  
言うべきか)の面積が広がっているのが分かります。ボディサイズが下が  
ればそれに伴い浮力も当然減って浮きにくくなります。それを110mmの

komomoIIよりも全体的にファットにする事で必要な浮力を保ち、またカッ  
プの面積を広くする事で、泳ぎ出し、レスポンスの良さ、何よりルアーの引  
き抵抗を最大限に感じられる仕様になっているのです。

## komomoII 90の使い方

使い方は、komomoIIをこよなく愛して下さる皆さまでしたら、その水面  
での泳がせ方をすでに理解して頂いていると思います。

あえて、使い方をもう一度。komomoIIは、激流のダウン側ではホント  
に使い難いルアーで(ぶっちゃけimaテスターがこんな事を言うと怒られる  
かもしれませんが…)じゃじゃ馬の様に押さえきれなくなる事もしばしば。  
ゆっくりとした流れから、そこそこ速さの流れの中で(通常の河川の流



デジマグ  
vol.43



■サブサーフェイスルアー 比較

	アクション			推奨エリア	全長/重量
コモモII	激しいクネクネアクションで水面を掻き分けて泳ぐ			港湾 干潟 河川	110mm 15g
コモモII 90	コモモIIよりタイトなクネクネアクションだが引き抵抗は抜群			港湾 干潟 河川	90mm 12g
モルモ80	緩やかなアクションで水面直下を泳ぎ独自の「引き波」を発生			港湾 干潟 河川	80mm 12g

れであれば問題ありません)水面直下、もしくは水面の水をかき分けて泳げる位のスピードが最も使いやすいルアーです。

そのシチュエーションでの実績は皆様ご承知のとおり大変素晴らしいものです。潜り過ぎる事無く、また潜らせ過ぎる事も無く、初動から左右に大きくアクションするkomomoIIの動きを感じながら、水面にその波紋を出したり、水中に入れたりと強弱をつけながらのリトリブがとても面白いゲーム展開をもたらしてくれます。

では、新しいkomomoII 90はどう使うか? サイズが90mmに小さくなり、その動きもやはり小さくなったのか? 答えはむしろプルプル感が増し「よく泳ぐ」ようになったと言えます。いや、「よく泳ぐ」と言うよりも「よく水を噛む」といった印象で、そのせいかリトリブスピードを上げていってもアク



これはホントに有難い! アングラー側へ伝える水中の情報を変えることなく、魚に対してはサイズダウンでより口を使わせる事が出来るなんて!

そして、ボディをファット化したことにより、浮力が110よりもおそらくほんの少し増しているように感じました。このセッティングだと激シャロー域でリトリブスピードを上げても水中に完全に入らず、水面でアピールし続けてくれるというメリットがあります。

110の場合、少し軽いフックを使って同様の水面アピールをしていたのですが、90はその水面でのアクションをある程度の許容範囲のあるリトリブスピードで対応しています。ホントにサーフェイスの釣りでは大きな味方になってくれる事は間違いありません。

水面でクネクネ泳ぐkomomoII 90に突如、シーバスが水柱を上げて襲い掛ってくるシーンを想像するだけで楽しくなっちゃいますよね! シャロー域で育ち、水面マニアの僕が言うのですから間違いのないでしょう!!

3/31に発売される湾奥のプリンス「大野ゆうき」さんが完全監修したmolmo80(モルモ80)とローテーションして使えば、ほんとうに死角の無い表層狙いシステムが完成します。komomoII 90とmolmo80、ぜひ両方お試しください!

ANGLER 濱本国彦  
Kunihiko Hamamoto

香川県在住ながら四国全域をカバーする人情系寂しがり屋アングラー。河川、港湾、磯、サーフとシーバスが生息する場所なら節操なくランカーに狙いを絞った釣りが得意。最近ではシーバスにルアーをじっくり見せながらバイトを取る独特の釣法に開眼。驚異的なランカーハント確率を叩き出し注目を集めている。



アピール力抜群のアクションでサブサーフェイスを攻略!!

komomoII 90

[全長]90mm [重量]12g [レンジ]0~20cm [アクション]ローリング+ウォープリング  
[タイプ]フローティング [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#2 [誕生日]2011/4/18

2011年4月18日新発売!  
1,890円(税抜1,800円)

